

令和7年度版

わたしたちの福島

～福島市の環境～



福島市

学校名	小学校	氏名
4年	組	番
5年	組	番
6年	組	番



目

次

1	わたしたちのまち 福島市	1
2	「 かんきょう 環境」ってなに？	2
3	考えてみよう まわりの かんきょう 環境	
	どうなってるの？ 地球温暖化 おん だん か	3
	どうなってるの？ ごみ	6
	どうなってるの？ 生き物	8
	どうなってるの？ 川	10
	どうなってるの？ 空気・音	11
	どうなってるの？ 放射線 ほう しゃ せん	14
4	かんきょう 環境を守るために	15
コラム	エスディージーズ SDGsってなに？	16



福島市ってどんなところ？

わたしたちの住む福島市は、広大な面積を有しており、東は阿武隈高地、西は吾妻連峰に囲まれ、福島盆地には市街地が広がっています。阿武隈川をはじめとする多くの川やすそ野に広がる平地など、さまざまな風景が見られます。

また、県北地方の中心都市として発展している一方で、信夫山や花見山など、身近なところに豊かな自然が残されています。

これらのさまざまな環境から、たくさんのめぐみを受けて、わたしたちは生活しています。

福島市のすばらしい環境を、大切にし、よりよいものにして将来へと残したいものです。

そのために、わたしたちと環境との関わりについて学び、環境を考えた行動ができるようになりましょう。

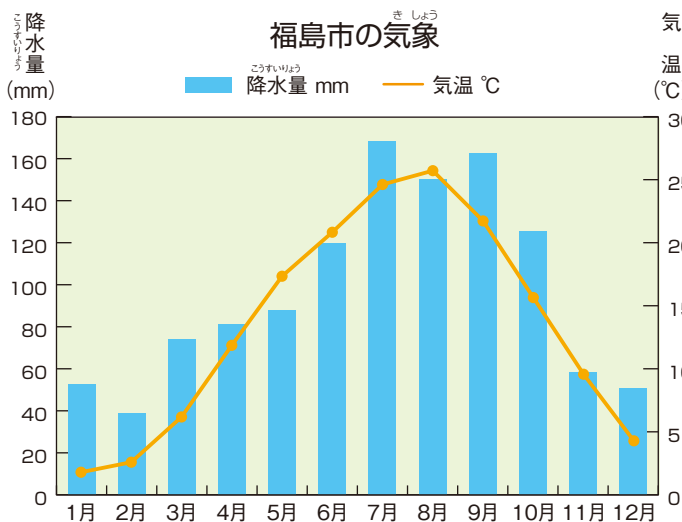
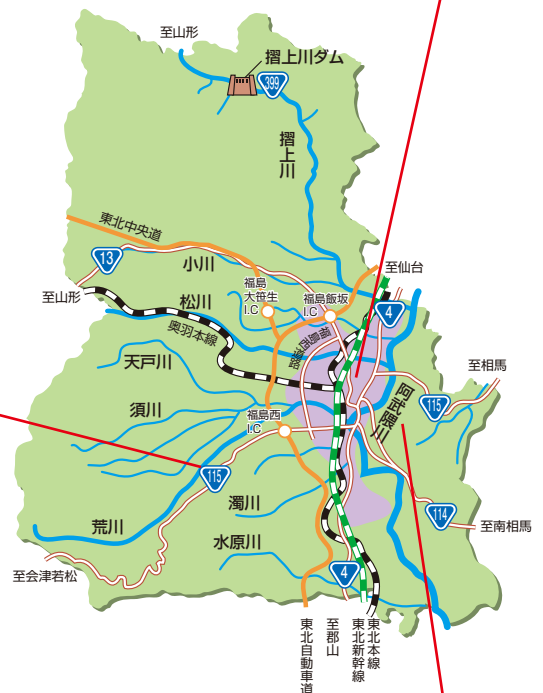


信夫山と福島市街地

みずばやし ぜんりん あらかわ せりゅう
水林自然林(荒川の清流)

わたしたちの住む福島市

- ・ 面積：767.72km²
- ・ 人口：270,938人
(令和7年2月1日現在)



(1994年～2023年までの30年間の値を平均したものです)

※気象庁(過去の気象データより)



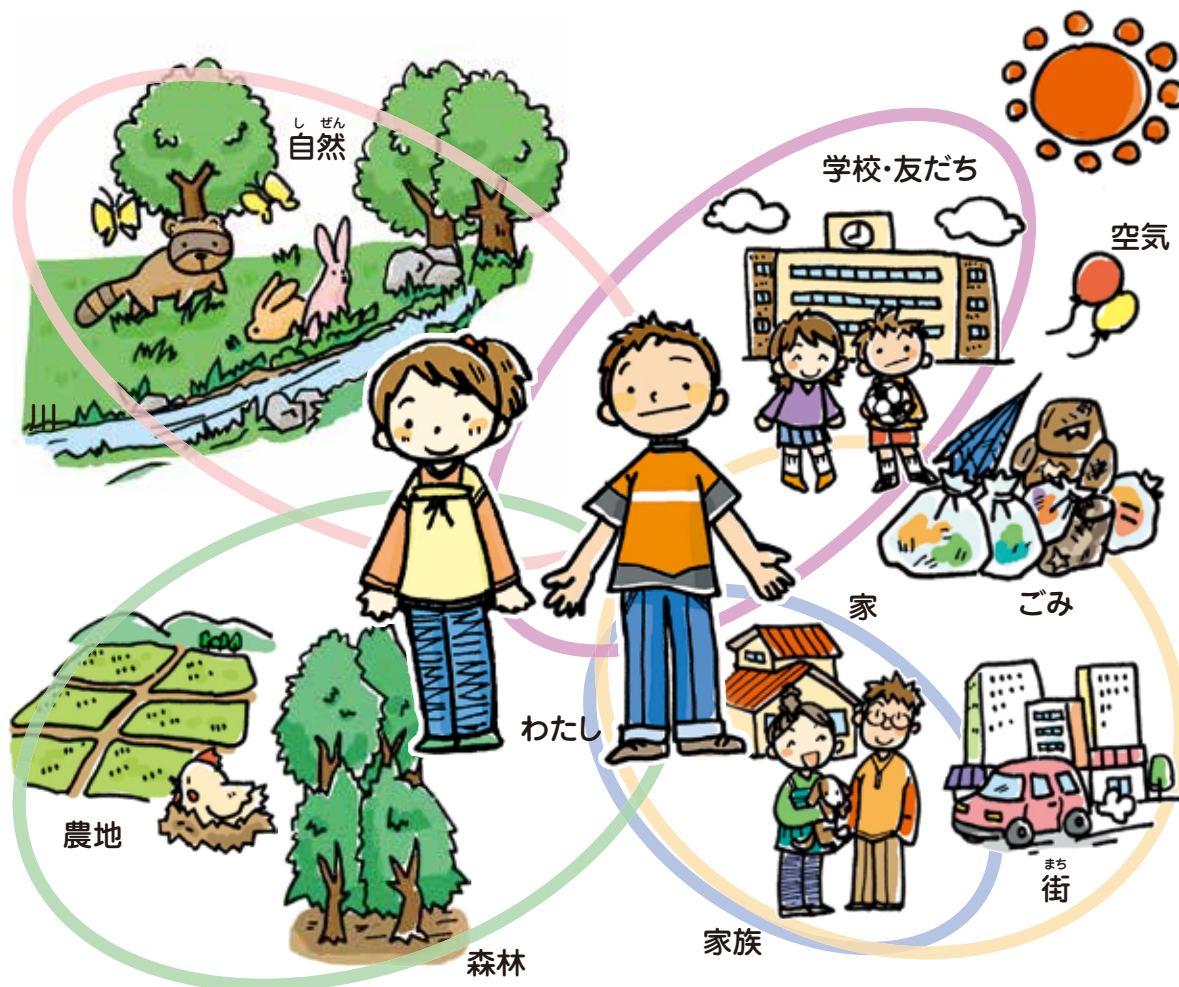
花見山公園

2

「環境」ってなに？

① 「環境」って、いったいなんだろう？

最近、いろいろなところで「環境」という言葉を耳にします。ところで、環境とはどのようなものなのでしょうか。



「環境」とは、「自分のまわりにある、自分とかがわっているもの」のことです。つまり、わたしたちのまわりにあるもの全てが、わたしたちの「環境」なのです。

② わたしたちの身近な環境

まずは、わたしたちにとって、家や学校はどんなところか考えてみましょう。

わたしたちは、普段どんな環境で生活しているのでしょうか。そして、よりよい環境にするためには、どんな工夫ができるのでしょうか。



「環境」とはどんなものか、想像できたでしょうか。次のページからは、わたしたちと関係しているさまざまな環境を、1つずつ見ていきましょう。

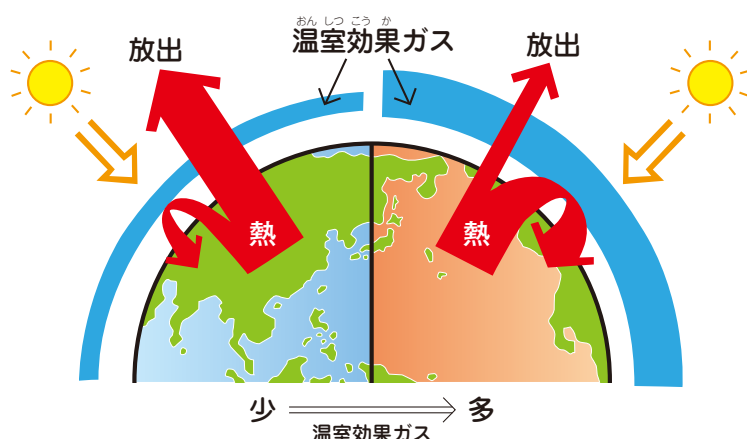
3

考えてみよう まわりの環境

どうなってるの？ 地球温暖化

① 教えて！ 地球温暖化

地球を包んでいる大気の中には、二酸化炭素などの温室効果ガスが含まれます。温室効果ガスは、太陽から地球へふりそそぐ熱の一部を宇宙に逃がさずに、わたしたちが暮らしやすい気温(平均14℃前後)に保つ機能を持っています。しかし、温室効果ガスが増えすぎると熱が逃げにくくなり、地球全体の気温が上昇してしまいます。これが、地球温暖化です。



地球の気温は、これから100年後に最大で4.8℃上がってしまうと考えられています。福島市の気温は、この100年で1.5℃上がりました。これは、日本全体の1.15℃、世界平均の0.85℃に比べて大きな変化です。わたしたちのまわりの環境にも、さまざまな影響が心配されています。

温室効果ガスが増えると…

異常気象の発生

台風が多く発生したり、洪水・干ばつなどの異常気象が発生したりするおそれがあります。



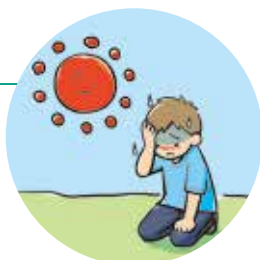
海面の上昇

砂浜や干潟など陸地が海に沈み、高潮や津波の危険地域がひろがるおそれがあります。



病気が増える

気温の上昇により熱中症患者が増えたり、マラリアなどの感染症が拡大したりするおそれがあります。



食糧不足

環境の変化により、思うように作物が育たなくなるおそれがあります。



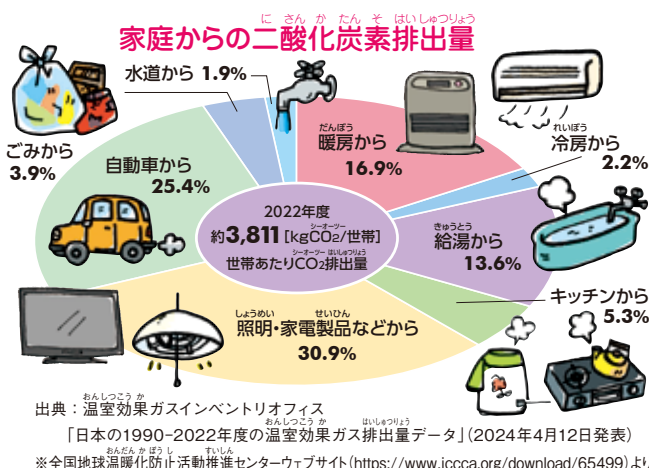
知っていますか？ 脱炭素社会

脱炭素社会とは、温室効果ガスの排出量が実質ゼロ*となる社会のことです。温室効果ガスである二酸化炭素などの排出量を可能な限り減らし、脱炭素社会を実現させることが、地球温暖化を防ぐためには重要です。福島市では、地球温暖化防止に向けて、2021年2月に「脱炭素社会実現実行計画」を策定しました。また、2050年度に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』を目指すことも宣言しました。

*エネルギーの消費などによる人為的な排出量から森林による吸収量を差し引いて算出する。

温暖化の原因となっている二酸化炭素は、わたしたちの生活から出るごみを燃やしたり、ガスやガソリン、灯油などの化石燃料を燃やしたりすることで発生します。生活に必要な電気などのエネルギーも、主に化石燃料を燃やしてつくられています。

つまり、わたしたちの生活の中にも、温暖化の原因があるのです。無駄なエネルギーを使わないように、わたしたちができることを考えてみましょう。



「デコ活」を実践しよう！

デコ活とは、環境省が2050年にカーボンニュートラル及び2030年度温室効果ガス削減目標の実現に向けて展開する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。二酸化炭素を減らす脱炭素（Decarbonization）と環境に優しいエコ（Eco）を含む「デコ」と、活動・生活を意味する「活」を組み合わせた新しい言葉です。

福島市は、このデコ活に賛同し、令和5年12月14日に「デコ活宣言」を行いました。みなさんも、日々の生活の中で、デコ活を実践しましょう。

例

- テレビをつけっぱなしにしない
- 食べ物を残さない
- 省エネ製品に買い替える など



② 「再生可能エネルギー」ってなに？

再生可能エネルギーは、太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱など自然から供給される、くり返し使用してもなくなるしないエネルギーのことです。発電時や熱利用時に二酸化炭素がほとんど出ないため、地球温暖化防止につながります。



■ 次世代エネルギーパーク計画



風力発電専門トレーニング施設 FOMアカデミー



吾妻高原風力発電所

福島市では、市全体を一つのエネルギーをテーマとした公園と見立て、市内各地に既に立地する代表的な発電設備や再生可能エネルギー関連施設を連携させ、市内外の方に対し、再生可能エネルギーに関する学習機会の拡充を図っています。

次世代エネルギーパークの詳しい説明や関連施設の紹介はこちらから▶▶▶



<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/kankyo-o/machizukuri/shizenkankyo/saiseenergy/energynokatsuyo/16041301.html>

福島市の再生可能エネルギー導入状況(直近5年)

No.	施設名	内容	導入年度
1	渡利学習センター	太陽光発電・蓄電池	令和2年度
2	道の駅ふくしま	太陽光発電	令和3年度
3	三河台学習センター	太陽光発電・蓄電池	令和5年度
4	飯野支所	太陽光発電・蓄電池	令和5年度
5	福島養護学校	太陽光発電	令和5年度
6	清水支所	太陽光発電・蓄電池	令和5年度
7	市民センター	太陽光発電	令和6年度
8	松陵義務教育学校	太陽光発電	令和6年度

※蓄電池：太陽光などで発電した電気をためる機械

福島市では、太陽光発電設備などを設置する住宅への助成金交付のほか、学校や学習センターなど公共施設への再生可能エネルギーの導入を進めています。また、福島市次世代エネルギーパーク計画などにより、再生可能エネルギーの普及啓発を行っています。



太陽光発電パネル
(清水支所)

地域と共生した再生可能エネルギーを導入するために

信夫山や花見山などの自然環境は、災害からわたしたちの身を守り、水資源を育むなどしてきました。しかし、近年、山あいに森林を大規模に伐採する太陽光発電や風力発電の施設設置が相次ぎ、地域の安全安心や景観の悪化に対する不安が高まりました。

福島市では、令和5年8月31日「ノーモア メガソーラー宣言～地域共生型の再エネ推進の決意を込めて～」によって、山地への大規模太陽光発電施設の設置は望まないことを宣言しました。また、令和7年4月からは、太陽光・風力発電施設の適切な設置のルールなどを条例に定めました。条例に沿った適切な発電施設の設置を進めるとともに、わたしたちの安全安心や自然環境を守り継ぎ、2050年のゼロカーボンシティを目指します。

③ 水素エネルギーってなに？

水素は、酸素と反応させることで、二酸化炭素を排出せずに電気をつくることができます。また、水素は貯めて運べるという利点を持ち、自動車の燃料や災害時の非常用電源としての普及が期待されています。電気を供給する際は燃料電池というシステムを利用します。



水素を使って
エネルギーを作るとき

水素 + 酸素

水 + 電気

水素燃料電池自動車(FCV)から外部給電することができます。

知っていますか？ごみ発電

あらかわクリーンセンターでは、ごみを燃やしたときの熱を利用して電気をつくるバイオマス発電を行っています。

この環境にやさしい電気は、あらかわクリーンセンターで使う分はもちろん、全ての市立小学校・中学校を含む公共施設等やももりんシェアサイクル、電気自動車の急速充電器などで使用されています。

環境にやさしい電気をつくるために、ごみを出すときは、しっかり分別するよう心がけましょう。



どうなってるの？ ごみ

① 福島市民が捨てるごみ

わたしたち福島市民が令和5年度に捨てたごみの量は、平均すると、1人1日あたり約1キログラムになり、全国と比較して約2割多い状況になっています。

ごみを減らすために、福島市はごみの資源化や減量化に取り組んでいます。キエーロなどの生ごみ処理容器を使って、家庭で生ごみを処理することや食べ残しをなくすこと、ごみの分別などわたしたち一人ひとりができることはたくさんあります。

■キエーロとは？

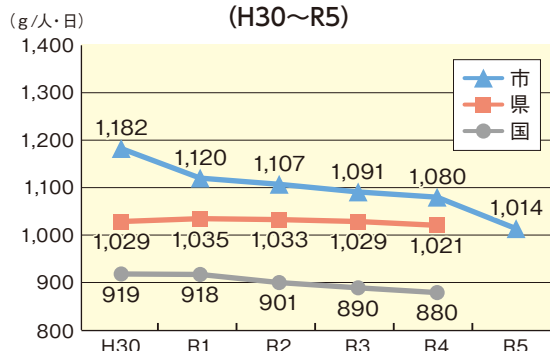
黒土の中に含まれる微生物の力を利用して、生ごみを分解し、消滅させる非電動式の生ごみ処理容器です。

特別な準備は必要なく、使い古しのプランターやバケツに庭の土を入れても代用可能です！

生ごみ分解の様子を観察してみよう！



1人1日当たりのごみ排出量の推移 (H30～R5)

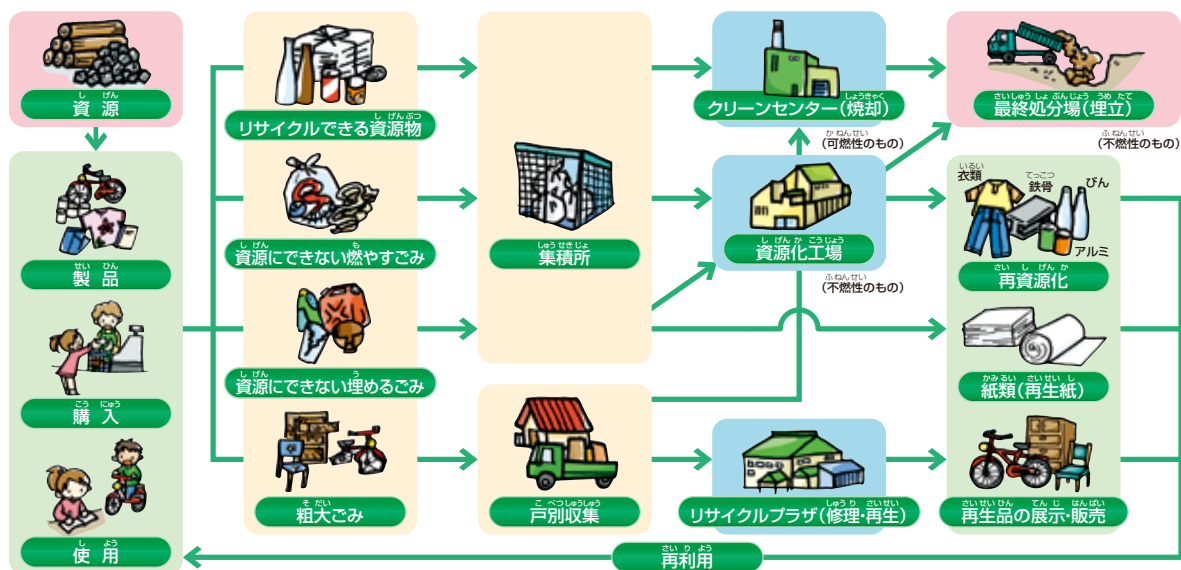


環境省一般廃棄物処理事業実態調査結果より
※国、県のごみ排出量 (R5) はR7.4頃に公表予定

② 「循環型社会」って、なに？

今のわたしたちは、ものをたくさん作り、たくさん買い、たくさん捨てる生活をしています。

しかし、ものをつくる資源には限りがあります。この資源を大切に使い、使い終わったものをもう一度使えるようにしていく「循環型社会」をつくるためには、どこをどのように見直せばよいのでしょうか。下の図で考えてみましょう。



使っていますか？

店頭回収

市内のスーパー等では、食品トレイ、ペットボトルなどを店頭で回収し、資源化に取り組んでいます。買い物のついでに出すことができ、雨の日なども利用できて便利です。

③「もったいない」ってどんなこと？

日本には、古くから「もったいない」という言葉があります。この言葉には、循環型社会をつくるために必要な「ものを大切に作る気持ち」が込められています。次にある3つのRは、すべて「もったいない」という思いがあればできることです。限りある資源をムダづかいしないために、「もったいない」を合言葉に次の3つのRに取り組みましょう。

循環型社会をつくるための3つのR＝「3R」

① Reduce	ごみを減らす	必要なものだけを買きましょう！
② Reuse	くり返し使う	使えるものはとことん使おう！
③ Recycle	再生利用	捨てないで、資源にもどそう！

「3R」の取り組みはどんなものがあるでしょうか？身近な生活のなかでできることはたくさんあります。みんなで考えてみましょう。

④ 覚えよう！福島市のリサイクルできる資源物

リサイクルできる資源物の分別		リサイクル例	
かん類	スチール缶、アルミ缶の2品目	かんや鉄骨など	
びん類	リターナブルびん（一升びん、ビールびん） その他のびん	びん類など	
ペットボトル	マークの付いたボトル ※ふた・ラベルはプラスチック製容器包装	文具や衣類など	
プラスチック製容器包装	マークの付いた袋や容器	文具など	
紙パック	紙パックマークの付いた牛乳などの紙パック	ティッシュなど	
段ボール	段ボール箱	段ボールなど	
新聞・チラシ	新聞や折り込みのチラシ	新聞紙など	
雑誌・本	週刊誌やマンガ、ノートなど	ボール紙など	
雑がみ	紙パック、段ボール、新聞・チラシ、雑誌・本以外のリサイクルできる紙類（包装紙、紙袋、紙箱、コピー用紙など）	梱包材など	
小型家電	携帯電話、ラジオ、デジカメ、パソコンなど市が指定するもの	小型家電など	
充電式電池	充電式電池を利用したモバイルバッテリーや電子タバコなど	鉄資源の原料など	
乾電池類	乾電池、コイン・ボタン形電池など	鉄資源の原料など	

どうなってるの？ 生き物

① 福島市で見られる生き物

地球上には多くの種類の生き物がいます。分かっているだけでも175万種ともいわれています。生き物はそれぞれがくらしやすい環境で生きています。

福島市にも、多くの種類の生き物がいます。どこでどんな生き物が見られるでしょうか。



自然観察をするときは、気をつけなければならないことがたくさんあります。中でも重要なことは、「自然を大切にする」「危険なところに入らない」「危険なことはしない」の3つです。このことを守るためにも、必ず先生などに相談して、いっしょに観察するようにしましょう。

② 生き物いっぱい！生物多様性

地球上にいるたくさんの植物や生き物たちは、山、森、川、海などのいろいろな場所ですくんでいます。この生き物の多様なくらしが生態系です。

このようにいろいろな生き物がいて、生き物がくらす自然がたくさんあることを、生物多様性といいます。この生物多様性は、わたしたちの豊かなくらしにはかせないたくさんの自然の恵みをもたらせてくれているのです。

③ がいらいせいぶつ 外来生物ってなに？

もともとその地域に生息していないのに、人間の活動によってつれて来られた生物を「外来生物」といいます。ミドリガメ、ブラックバス、アメリカザリガニなども外来生物です。これらの外来生物は、生態系に悪影響を及ぼす恐れがあるため、野外に放出してはいけません。

外来生物のうち、生態系や人間の健康、農作物へ被害をおよぼすものとして、162種（令和6年7月1日現在）が「特定外来生物」に指定されています。

福島市内で確認されている主な特定外来生物

（写真提供：環境省）



アライグマ



アメリカミンク



オオキンケイギク

④ みんなつながっている



生き物はみんな、さまざまなかたちで関わり合いながら生きています。生き物どうし食べたり食べられたり、利用したりしています。また、直接の関わりがないように見えても、土や空気、水をとおして関わっているのです。

もちろん、わたしたち人間も、この関わりの中で多くの生き物に助けられて生きています。人間の無責任な行動でこの関わりがゆがめられると、多くの生き物だけでなく、わたしたち自身も影響を受けるということを考えて暮らしていくことが大事です。

どうなってるの？ 川

① 福島市を流れる川

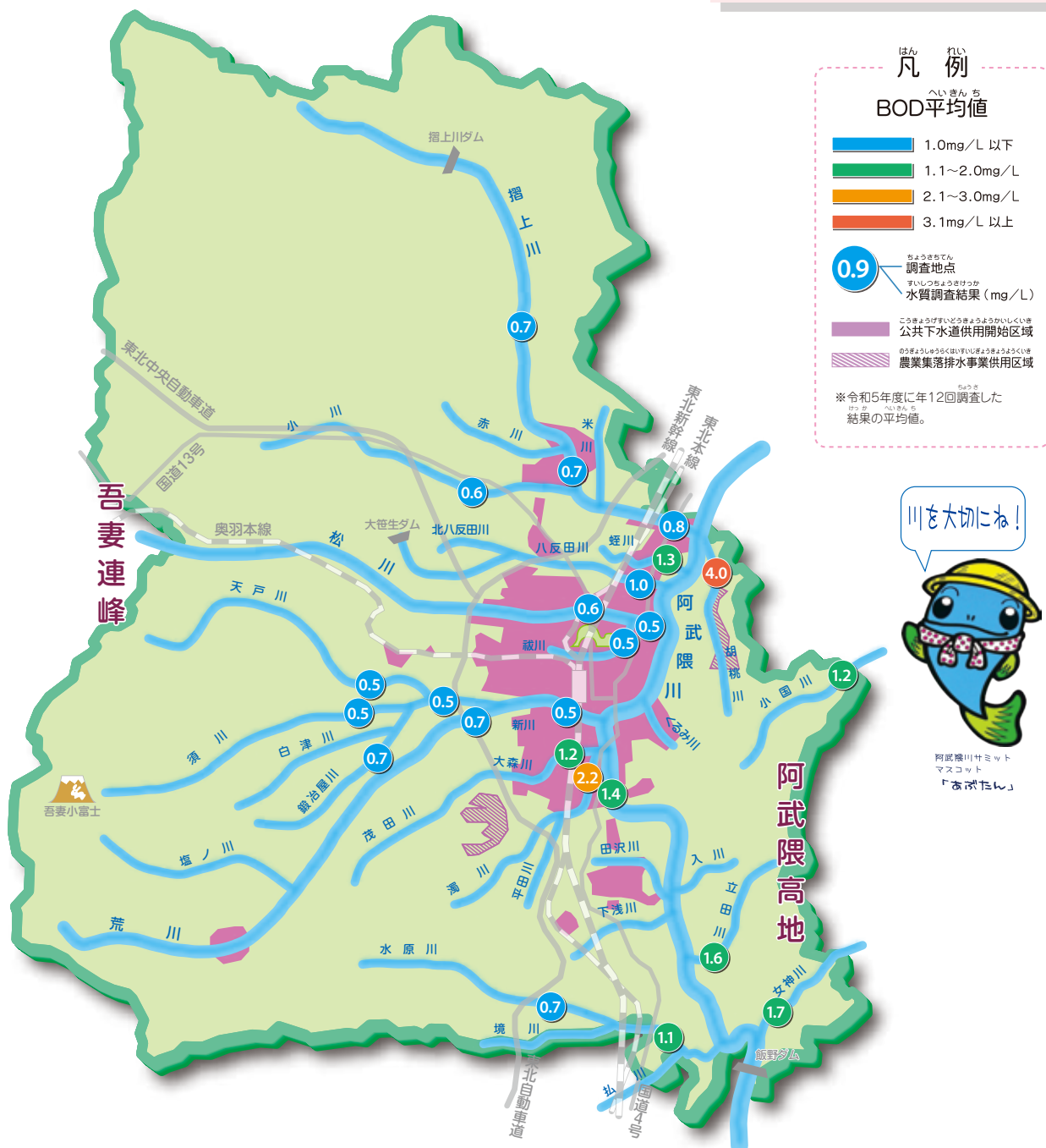
川の水は飲み水だけでなく、農業や工業など、さまざまな生活の場で使われています。また、川や川のまわりには、魚や虫、鳥など多くの生き物がすんでいて、自然を身近に感じることができる大切な場所でもあります。

福島市を流れる荒川は、平成22年から令和5年までの国土交通省河川ランキングにおいて14年連続で水質日本一、そして環境省が平成20年に発表した「平成の名水100選」に選ばれるほどきれいな川です。

大切な川を、いつまでもきれいに保ちたいものです。

ビーオーディー BODってなに？

ビーオーディー BODとは、**有機物**による水のよごれ具合を表す指標のひとつです。数字が大きいほどその水はよごれています。5mg/L以下であれば、魚がすめるといわれています。



② 川にすむ生き物を調べてみよう

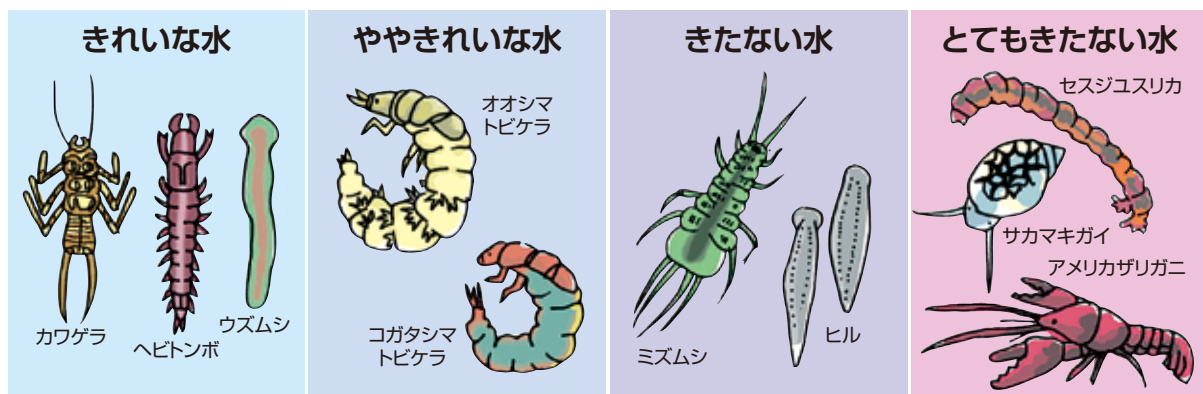
川にはいろいろな生き物がすんでいます。特に川底にすむ生き物は、種類によって、好きな水のきれいさが決まっています。

その場所にどんな生き物がすんでいるかを調べると、川の水のよごれをある程度判定することができるのです。



水生生物調査の様子

水のきれいさがわかる生き物(指標生物)



どうなってるの？ 空気・音

① きれいな空気を守るためには

空気がよごれると、目がチカチカしたり、せきが出たりするなど健康に被害が出る場合があります。そのため、空気のよごれ具合が、体に影響がない状態なのか調べなければなりません。

福島市では空気のよごれ具合を測定するために、4か所の測定局を設置しています。

福島市内の大気汚染測定局



福島第三小学校の大気汚染測定局



光化学オキシダント測定機器ほか(福島第三中学校)

車の排気ガスは空気をよごしてしましますが、日本ではハイブリッド自動車や電気自動車が普及しはじめたことにより、改善傾向にあります。

一方で、よごれた空気が海外から日本に流れてくることも確認されており、空気のよごれは、世界共通の問題となっています。

福島市では、公用車に電気自動車や水素燃料電池自動車を導入して、排気ガスを減らし、環境にやさしいまちづくりに努めています。



水素燃料電池自動車

■ 空気のよごれの主な原因

窒素酸化物

主に自動車の排気ガスにふくまれています。酸性雨の原因の1つです。また、のどや肺などの呼吸器に影響を与えることがあります。

硫黄酸化物

石油や石炭などを燃やしたときに出てきます。酸性雨の原因の1つです。また、ぜんそくなどの病気の原因になると言われています。

浮遊粒子状物質

細かいホコリやゴミ、石油や石炭などを燃やしたときに出るチリのことです。

また、 $2.5\mu\text{m}$ ($=0.0025\text{mm}$)以下のとても小さな粒子のことを微小粒子状物質「PM2.5」と呼びます。肺の奥深くまで入りこみやすいことから健康への影響が心配されています。

2 「酸性雨」ってなんだろう

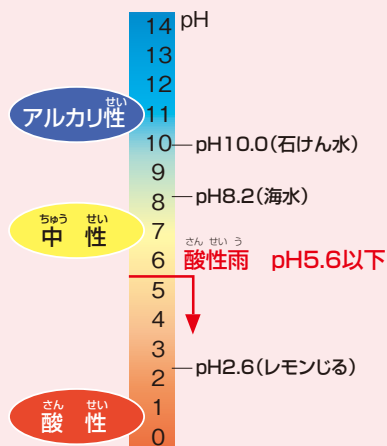
工場などから出るけむりや車の排気ガスに含まれている窒素酸化物や硫黄酸化物は、太陽の光によって、雨を、酸性雨という酸性度の強い雨に変えてしまいます。

酸性雨が降り続けると、木が枯れたり、川から魚がいなくなったり、さらに、金属やコンクリートが溶けてしまうこともあります。



■ 「酸性」とは？

液体の性質は、酸性・中性・アルカリ性に分けることができます。それを「pH」という単位を使い、0～14の数であらわします。



3 空を見よう

空気のよごれを目で見ることは難しいですが、星空を肉眼や双眼鏡で観察することによって、そのよごれを知ることができます。

空気がきれいで澄んでいるほど、星空もきれいに見えるのです。

わたしたちも、星空の観察をとおして、空気のことを考えてみませんか？



福島市浄土平天文台(写真提供: 豊島直紀氏)

4 「音環境」を考えよう



福島市中心部を走る新幹線

わたしたちが普段出している音。自分は気にならないけれど、まわりの人たちはいやがっていることもあります。

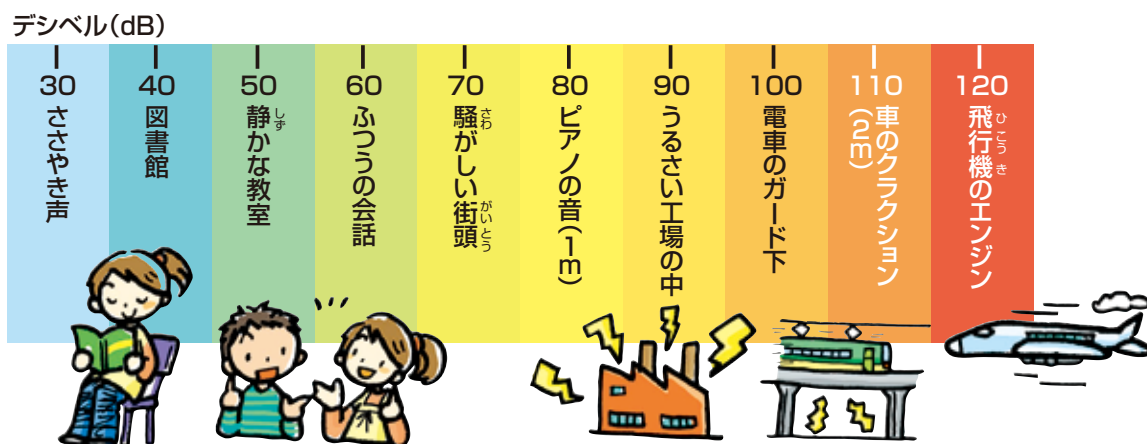
人がいやがる音のことを騒音^{そうおん}といいます。新幹線^{しんかんせん}や高速道路を走行する自動車などの交通騒音^{こうつうそうおん}、住宅地などで起きる近隣騒音^{きんりんそうおん}も問題になっています。

騒音を軽くするため、新幹線や高速道路には音を防ぐ壁^{ふせかべ}(防音壁^{ぼうおんへき})が設置^{せつち}されている場所もあります。

福島市では、道路や新幹線などの騒音調査を実施しています。

5 音のものさし

音の大きさは、デシベル^{たん い}という単位で表します。下の図は、音の大きさの目安です。

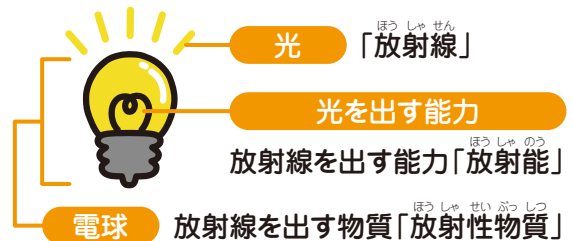


どうなってるの？ ほうしゃせん 放射線

① ほうしゃせん 「放射線」ってなに？

ほうしゃせん
放射線は、宇宙や地面、空気、食べ物、そして家や学校などの建物からも少しずつ出ています。日常的にわたしたちの身のまわりにありますが、目には見えません。わたしたちは今も昔も放射線がある中で暮らしています。

ほうしゃ せい ぶつ しつ 「放射性物質」を“電球”に例えると…



② ほうしゃせん 放射線の量と健康は？

ほうしゃせん
放射線には、ものを通り抜ける性質があり、人間の体を作っている細胞は放射線をあびると傷ついてしまいます。わたしたちは、自然にある放射線や病院のレントゲン撮影などによって日常的に放射線を受けますが、それらによって健康的な暮らしができなくなるようなことを心配する必要はありません。しかし、病気などは色々な原因が重なって起こることもあるため、ほうしゃせん
放射線を受ける量はできるだけ少なくすることが大切です。

③ ほうしゃせん 放射線の量を減らす「除染」

とうきょうでんりょく だいいちげん しりょくはつでんしょ
2011年3月に起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故で、福島市に放射性物質が降ってきました。放射性物質は、地面・家などについてしまい、そこから出る放射線の影響で、事故前よりも放射線の量が多くなりました。わたしたちが受ける放射線の量を減らすために、ほうしゃせいぶつしつ のぞ じょせん じっし
放射性物質を取り除く「除染」を実施し、安心して暮らせる環境を取り戻しました。

わたしたちのひばく量を確保するための取り組み

ほうしゃせん
体に放射線を受けることを「ひばく」といいます。福島市では、体の外から受けるひばく量(外部ひばく量)を確認するために「ガラスバッジ」による測定をしたり、食べた物から受けるひばく量(内部ひばく量)を確認するために「ホールボディカウンタ」による検査をおこなったりしています。

また、学校の給食を安心して食べることができるように、材料の検査をしているほか、市内の支所などに食品の放射能を測定する「食品等放射能測定所」を設けています。



ほうしゃのうそくてい
食品等放射能測定の様子

ほうしゃせんりょうそくてい 放射線量測定の取り組み

市民のみなさんの不安を少しでも減らすため、わたしたちの身のまわりの放射線量について、福島市独自で学校や公共施設などの測定をおこなっています。

また、個人や町内会への簡易放射線量測定器の貸し出しや、希望されたご家庭などの個別測定もおこなっています。

国も、モニタリングポストを設置し、現在は、原子力規制委員会のホームページで放射線量をリアルタイムで確認できるようになっています。



ほうしゃせんりょう そくてい
放射線量の測定の様子

4

かん きょう 環境を守るために

① かんきょう 環境を守る主役は、わたしたち

きれいで住みよいまちをつくるためには、わたしたち自身が身近な問題に気づき、行動することが必要です。わたしたちは今、便利で豊かな生活を送っています。しかし、このような生活は環境を悪くする原因にもなることに気づいたでしょうか？
良い環境を守るために、わたしたちができることを考えてみましょう。



② ポイ捨てのないまちをつくらう！

わたしたちの通学路や近くの公園を見わたしてみましょう。空き缶やお菓子の袋などのごみは落ちていませんか？

福島市には、ごみのポイ捨てを防ぎ、きれいなまちをつくるための「福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり条例」があります。

ルールを守って、良い環境、きれいな街なみをわたしたちの手でつくりましょう！



③ 広げよう！活動の環

福島市には、環境を守る取り組みをしている人、環境について学びながら活動をしている人がたくさんいます。わたしたちも積極的に参加して、活動の環を広げてみませんか？



エコ探検隊の様子

ふくしまエコ探検隊

市内の小学4～6年生(約30人)を対象に、身近な環境について学ぶ「ふくしまエコ探検隊」を実施しています。

野外散策や施設見学、楽しいゲームなどを通して、福島市のさまざまな環境について学んでいます。

●詳しくはこちら <https://www.city.fukushima.fukushima.jp/kankyo-o/machizukuri/shizenkankyo/kankyogakushu/ecotankentai.html>



ふくしまきれいにし隊の活動の様子

ふくしまきれいにし隊

「ふくしまきれいにし隊」のみなさんが市内の美化(清掃)活動に取り組んでいます。

「ふくしまきれいにし隊」は、市民のみなさんがボランティアとして「もっと、まちをきれいにしたい！」という気持ちで道路や公園などの清掃をおこなうものです。令和5年度までに244団体が登録し、7,660人の市民が活動しています。

●詳しくはこちら <https://www.city.fukushima.fukushima.jp/kankyo-eisei/machizukuri/shizenkankyo/kankyoesse/poisute/1136.html>



ふくしま環境フェスタの様子

ふくしま環境フェスタ

市民、事業者などと一緒に環境を守る取り組みを広げるために、「ふくしま環境フェスタ」を開催しています。

「ふくしま環境フェスタ」では、小学生による環境学習の発表やステージショー、さまざまな体験型のブースなど、楽しみながら環境を学ぶことができます。



福島市環境ポータルサイト「ふくエコ」をチェックしてみよう！環境に関する情報やイベント情報が盛りだくさん！環境クイズもあるよ！<https://fuku-eco.net/>



エスディーゼーズ S D G s は、「持続可能な開発目標」という意味の英語 “Sustainable Development Goals” の略で、今、わたしたちが直面している様々な問題を解決するため、2030年までに目指す17個の目標の事です。これは、「貧しい人々が取り残され、地球の環境は悪化しており、このままでは世界が立ち行かなくなる」という強い危機感のもと、2015年にできました。目標の中には、環境に関するものも含まれています。



ここでいう持続可能な開発とは、将来の世代のために環境や資源を壊さずに、今の生活をよりよい状態にすることです。

SDGsを実現するためには、何ができるのかを考え、そして行動することが大切です。一人の力は小さくても、世界中の多くの人々が力を合わせれば、とても大きな力となり、目標達成につながるのです。

ぜひみなさんも、SDGsの視点から福島市の環境を見る意識を持ちましょう。日頃の何気ない行動が、SDGsに貢献しているかもしれません。

エスディーゼーズ みらい と し せんてい

SDGs 未来都市に選定されました！

福島市は、令和3年5月21日に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った取り組みを推進する都市・地域の中から、経済・社会・環境の三側面における様々な取り組みを通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市や地域が選ばれます。※ポテンシャル:「将来の可能性のこと」などを表します。



エスディーゼーズ もくひょう たっせい

SDGsの目標を達成するために、わたしたちができることは何でしょうか。
みんなで考えてみましょう。

環境についてもっと学びたいとき

●福島市の環境に関すること

かんきょうがくしゅう かんきょうかつどう 環境学習、環境活動について	福島市役所 環境政策課 https://www.city.fukushima.fukushima.jp/	Tel.525-3742
こうがい かんきょう ちようさ 公害・環境の調査について	福島市役所 環境衛生課 https://www.city.fukushima.fukushima.jp/	Tel.573-2557

●ごみに関すること

ごみ・資源物について	福島市役所 ごみ政策課	Tel.525-3744
ごみを処理する施設	あぶくまクリーンセンター あらかわクリーンセンター	Tel.531-6662 Tel.545-4363
リサイクルについて	あらかわクリーンセンター内 福島市リサイクルプラザ	Tel.539-9253
し尿を処理する施設	福島市衛生処理場	Tel.535-1807

●生き物に関すること

野鳥の観察などについて	福島市 小鳥の森 https://f-kotorinomori.org/	Tel.531-8411
がいらい 外来生物について	福島市役所 環境衛生課	Tel.573-2557

●川に関すること

水道水をつくる施設	すりかみ浄水場	Tel.541-4100
げすいどう 下水道を処理する施設	下水道管理課	Tel.535-1807

●空気に関すること

きしょう 気象データについて	福島地方気象台 https://www.jma-net.go.jp/fukushima/	
たいき おせんじょうきょう 大気汚染状況について	かんきょうしょうたいき おせん ぶっしつ こういき かんし 環境省大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君) https://soramame.env.go.jp	
おんだん か 地球温暖化について	いっばんしゃだん ほうじん ちきゅうおんだん か ほうし 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(JNCCA) 全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA/デコ活ジャパン) https://www.jccca.org/	
かんそく しせつ 星を観測する施設	福島市浄土平天文台 ※開館期間：4月上旬～11月上旬(磐梯吾妻スカイライン通行可能期間) http://www14.plala.or.jp/jao/	Tel.0242-64-2108

●福島市の放射線に関すること

ひばく量 の検査について	福島市役所 保健所 保健総務課放射線健康管理係	Tel.525-7681
(学校給食に使う食材の測定)	福島市教育委員会 教育施設管理課	Tel.525-3706
ほうしゃせん 放射線の測定、除染について	福島市役所 環境衛生課 放射線モニタリングセンター	Tel.525-3210
(学校の除染)	福島市教育委員会 教育施設管理課	Tel.525-3706
くう 空間放射線量のリアルタイム測定数値	原子力規制委員会 https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/	

●その他、保全活動、環境情報などに関すること

友だちや家族とできる環境活動について	かんきょう (こどもエコクラブなど)	福島市役所 環境政策課	Tel.525-3742
(ふくしまきれいにし隊など)	福島市役所 環境衛生課	Tel.573-2557	
しぜん 自然大好きクラブ(自然体験の情報など)	しぜんたいけん じようほう https://www.env.go.jp/nature/nats/		
EICネット(一般財団法人環境イノベーション情報機構)	かんきょう https://www.eic.or.jp/		
かんきょうしょう ホームページ	https://www.env.go.jp/kids/index.html		



市の木「ケヤキ」



市の花「モモ」



市の鳥「シジュウカラ」

わたしたちの福島

～福島市の環境～

令和7年度版

発 行 福島市環境部環境課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
電 話 525-3742
監 修 福島市教育委員会学校教育課
福島市環境部ごみ減量推進課
作 成 令和7年3月
